

今日ある幸せを感謝する大切な期間です。

お彼岸のおつとめ





お彼岸は、ご家族そろってお墓参りをして ご先祖様に、今日ある幸せを感謝しましょう。

お彼岸とは

「暑さ寒さも彼岸まで」といい、一年中で最もよい季節にお彼岸の日があります。お彼岸は年二回、三月の春分の日と、九月の秋分の日を「中日」として、その中日の前後三日ずつを合わせた一週間を「彼岸」といいます。お彼岸という言葉は、古代インド語の「パラミター」を「到彼岸」と訳したことに由来します。もともと極楽浄土という真実の理想の郷(悟りの世界)を意味しており、迷いや苦悩に満ちたこの世の「此岸」(しがらみ)に対して、理想の彼方のところ(彼岸)をさす言葉です。仏教では、悟りをひらいた人は、彼岸にたどり着くことができると思っています。このことから、仏教行事の

なかでも、もつとも仏教思想をふまえた行事ということになるでしょう。しかし、彼岸の行事は、仏教発祥の地であるインドにも、中国にもない、日本独特の行事ともいえます。また、この教えのなかでは、彼岸に到着するために、「六波羅密」という六つの実践方法をすすめています。

- 一、「布施」自分の持っているものを他の人に感謝の心で施をする
- 二、「持戒」いましめを守る
- 三、「忍辱」不平不満をいわず正しい心を持ち続ける
- 四、「精進」精進努力する
- 五、「禅定」常に心の平静を保つ
- 六、「智慧」ありのままの真実の姿を見つめ智慧を働かせる

すなわち、お彼岸にお仏壇やお墓を美しく整え、花や水をそえると共に故人の好物をお供えし線香や灯明をあげるのには、実はすべて六波羅密を実践していることなのです。実際は、毎日心がけた方がよいのですが、忙しい現代ではそれは難しいので、せめて、気候のよい春と秋のお彼岸の七日間くらいは実践しましょう、というのが「お彼岸」の始まりです。

お彼岸には、ぜひご家族揃ってお墓参りをして、故人を偲びたいものです。

お寺様では

お寺様ではお彼岸の間、「彼岸会」を営んでいて、そこで読経やご法話などが行われています。

お墓参りの折りには、彼岸会にも参加してご供養をお願いしてもらいましょう。



	<p>1線香と花束、たわしなどを持参し、手桶、竹ぼうきなどをお寺で借ります。</p>
	<p>2古い花や線香の燃えかすを取り除き、墓石から墓地内へと掃除をします。</p>
	<p>3供水の水鉢をきれいな水で満ちます。</p>
	<p>4持参した花をいけます。</p>
	<p>5花立てに新しい水を入れます。</p>



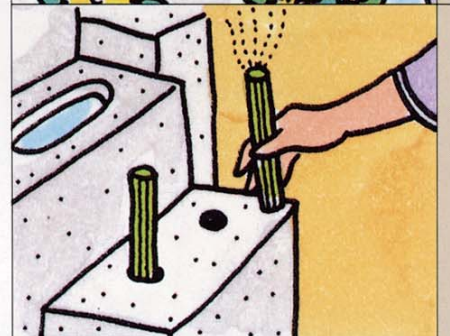
⑥ 古いしきたりでは満たした水の上にしきみの葉を一枚浮かべます。

⑦ 浮かべたしきみの葉で墓に水をふりかける。これを水手向みづむかひといいますが。

⑧ 束ねた線香に火をつけ墓前に平等に供えます。

⑨ 墓石の一番上から故人と縁の深い順に、満遍なく濡れるように掛けます。

⑩ 立ったままの拜礼でも、いいいならば礼にかなっています。



お墓参りの前にご本堂へ

お彼岸のお墓参りは、お彼岸の七日間のうちであればいつでもかまいませんが、できればご家族が揃って行かれる日を選びましょう。また、お寺様にお墓がある場合は、「お供え物」程度は持っていき、まずはお寺様の本堂のご本尊様にお参りをすませてからご先祖様のお墓に向うのが普通ですが、時間がないうでしたらせめて、お寺様にご挨拶をしてから帰るくらい心のくばりは忘れないようにしましょう。

お墓参りのしかた

お墓参りには特別の作法はありません。とにかくお墓の掃除から始めることです。汚れたり、コケのはえている墓石はタワシで洗って、きれいにします。ご先祖様も汚れたお墓よりもきれいなほうが気持ちいいでしょうし、汚れたものをきれいにするのは道理です。

水鉢もきれいに洗い、新しい水をそそぎ、掃除が終わったら、花を飾り、ローソクを灯したり、お線香を立てます。合掌礼拝のまえに、水桶からひしゃくで水をすくって墓石にかけます。このとき、遠慮がちに墓石の下のほうだけさりげなくかける人がおられますが、堂々と墓石の上からたっぷりかけてください。

なぜなら、この水は餓鬼に施す水でもあるからです。水を飲もうとして口まで持っていくと水は火に変わってしまい、なかなか水の飲めない餓鬼でも、お墓にかけた水だけは存分に飲めるといわれています。そうした餓鬼をあわれんで水を施し与えようということから、墓石に水をかける習慣が始まった、と考えられていますから、おなじ施すのならたっぷり施したいものです。

お墓参りの必需品

お墓参りには、次のものが必要です。

掃除用のほうき、たわし、雑巾、バケツ、

念珠、マッチ、ろうそく、線香、半紙、お供え用のお花、菓子、果物など、水桶とひしゃく、その他、墓石に刻まれた部分を磨くためのブラシも持参すると便利です。これらのものは、お寺で貸してくれるところもありますし、大きな霊園では、売店や管理事務所で貸したり販売していることもあります。

ですが、お寺様はお墓参りの道具を借りるところではありません。事前に調べて忘れもののないよう用意して行きましょう。尚、真宗では、お彼岸として悟りに到るための修業はせず、日本古来からのこのお彼岸の行事を「悟りの世界(お浄土)へ到らしめてくださる如来様のお徳を讃え、そのお心を聴聞きこもんさせていただく仏縁」として大切にしています。

※地方の習慣や宗派により異なります。

詳しくはお寺様又は当店におたずねください。

**お彼岸には、ご家庭でお供え物を
つくりお仏壇にお供えしましょう。**

彼岸の入りには、ご家庭のお仏壇の中や
まわりをいつもよりていねいに掃除して
新しい水や花、それに、故人の好物、季
節の果物や五目寿司やおはぎ、彼岸団子
などをお供えします。

近ごろではお彼岸のお供え物も買い求め
てしまうことが多いようですが、できれ
ばご家庭でつくり、お仏壇に供え、お墓
に供え、近隣の人、友人知人にも配りま
しょう。これはまさに自分の持つてい
るものを他に分けあたえ共に喜ぶとい
う、お布施の精神そのものです。

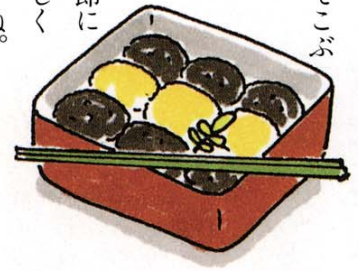
お彼岸には、お盆のときのような儀式と
してのしきたりはありませんが、人間の
原点ともいえる行事です。お彼岸の間は
毎日、朝晩、お仏壇に灯明やお線香をあ
げて礼拝し、お供え物を絶やさないう
ご供養してください。

**春牡丹、秋は萩になぞられた
日本ならではの美しい言葉です。**

お彼岸のお供えになくはならないもの
が、ぼた餅やおはぎです。

どちらももち米を蒸したものを丸めてそ
れに甘く煮た小豆をからめたものです。
両者のちがいは、春彼岸には牡丹の花を
かたどって丸く大きめに、秋彼岸には、

萩の花をかたどってこぶ
りて長めに丸めて
つくり、春は「ぼた
餅」、秋は「おはぎ」
とよんだといわれ
ます。日本人の季節に
関する繊細さが美しく
表現された言葉ですね。



**お彼岸がきてもお参りする
お墓がなくても、心を向けて…。**

昔からお彼岸には、自分の家のお墓だけ
でなく、親類、縁者、知人などの家のお
墓にお参りする習慣があります。お墓が
ないんだけどなどとおっしゃらないで、
平素ご無沙汰しているお世話になった方
のお墓、亡き恩師のお墓などを先方には
黙ってお墓参りをしてあげることです。
ご自分のお墓にお参りしてみたら、誰か
がもうお参りして、花や水がお供えして
あったら、お互いに気持ちのよいもので
す。お彼岸
は、お中日
を中心とし
た修行週間
ですから、
たとえお墓がなくても
心がけてみてはいかがですか。



**お彼岸の夕陽には功德がある
というのは本当？**

春分、秋分の日、ご存じのように、昼
と夜の長さが同じになって、太陽は真西
へと沈みます。この日ははさんで前後一
週間が「お彼岸」です。だから「お彼岸の
中日」の夕日には功德があり、その彼方
には極楽浄土があるといわれます。

お彼岸にはご先祖様のご供養とともに、
ご自分の浄土への願いも込めて、春分、
秋分の日には、ご家族そろって西日の沈
む彼方に向かい、胸の中で念仏をととな
えてみたらいかがですか。
夕日の向こうには、極楽があることをこ
ころに描いて。



※宗派及び地域習慣により作法等が異なる事があります。詳しくはお寺様又は当店にてお尋ねくださいませ。

◆全国優良仏壇専門店会加盟店◆



〈仏壇、仏具、神具、寺院用具、墓石〉
創業百余年
佛壇の升谷

本店 秋田市大町一丁目4-37
電話 018(824)3181
石材部 秋田市寺内蛭根3-23-11
電話 018(863)8284